

2003年6月の東北地方の天候

【6月の特徴】

- ・上、中旬の少雨と下旬の多雨
- ・下旬の東北太平洋側の北部の低温

(1)概況

上旬は高気圧に覆われて晴れる日が多く、また中旬は梅雨入り後曇りや雨の日が多かったものの天気が大きく崩れる日は少なく、上・中旬の降水量は少なかった。下旬の24日以降は寒気を伴った低気圧等の影響で雨の日が多く、降水量が多かった。24日からはオホーツク海高気圧が張り出したために東北太平洋側の北部を中心に最高気温が平年より低い状態が続いた。

なお、東北南部・東北北部とも6月12日頃に梅雨入りしたとみられる。(ただし、この梅雨入りの時期は暫定値である)

月平均気温は高い。月降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

(2)天候経過

上旬： 1日に台風第4号から変わった低気圧や前線の影響で雨となったが、中頃までは高気圧に覆われて概ね晴れた。後半は中心が北に偏った高気圧に覆われて、東北日本海側は概ね晴れたが、東北太平洋側は湿った東よりの風の影響で朝晩を中心に曇りの日が多かった。

平均気温は平年並。降水量は少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。

中旬： 11日は高気圧に覆われて晴れたが、12日以降は低気圧や日本の南岸に停滞した梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。また、期間の終わりには台風第6号から変わった低気圧が日本海を北東に進み、南から暖気が流れ込んで真夏日となった所があった。

平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で少ない。

下旬： 21～23日は高気圧に覆われて概ね晴れたが、その後は寒気を伴った低気圧等の影響で曇りや雨の日が多かった。東北太平洋側の北部では24日からオホーツク海高気圧からの湿った東よりの風の影響で沿岸部を中心に気温が低くなり、低温注意報や低温に関する気象情報を発表した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。

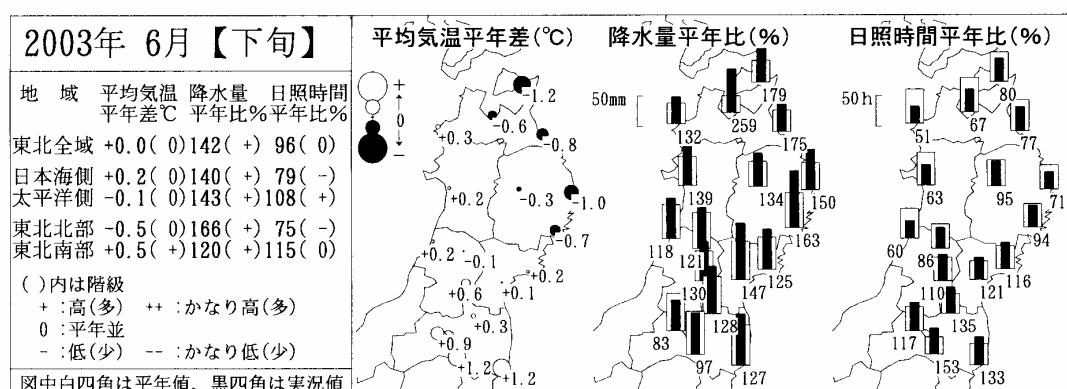
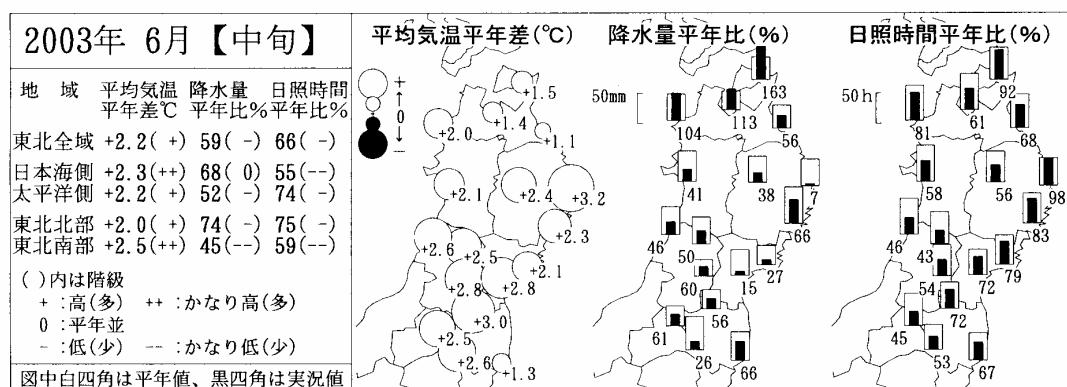
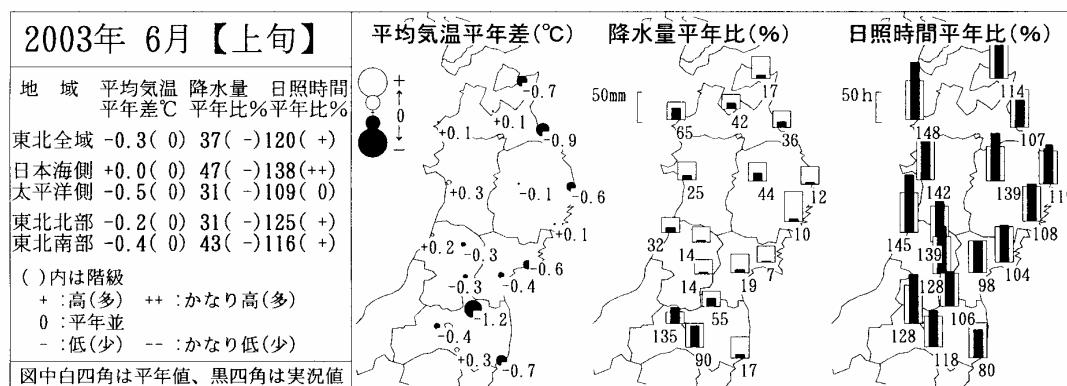
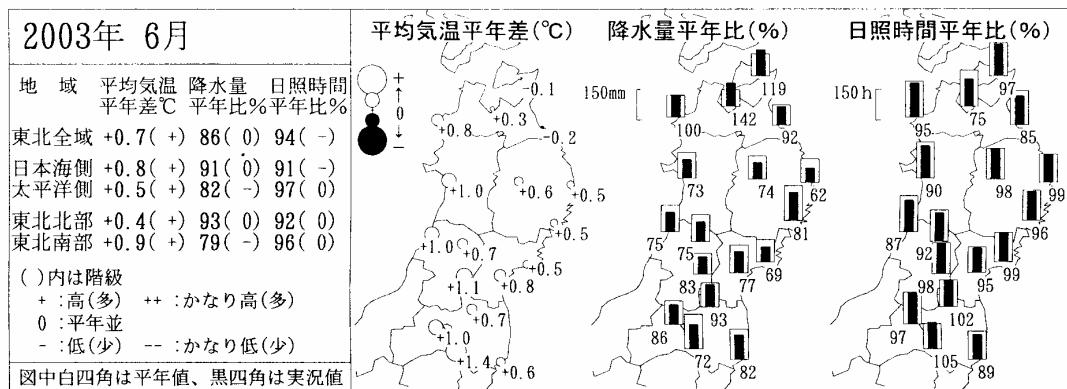
注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。

細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2003年6月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽地方、秋田県、山形県、福島県会津地方

東北太平洋側：青森県下北・三八上北地方、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り地方

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 月気候表 (2003 年 6 月)

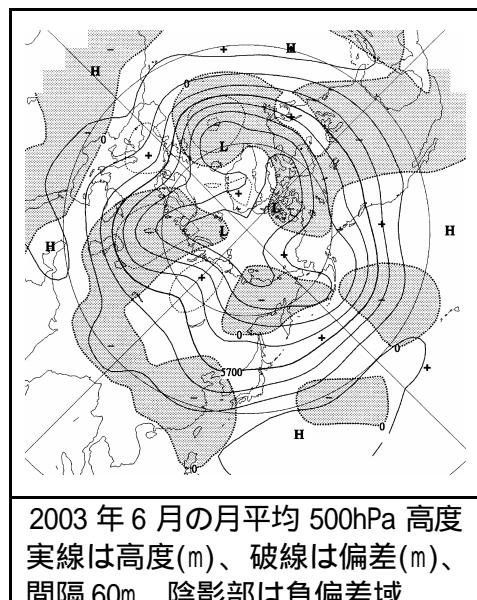
地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級
青 森	17.3 (+ 0.3) +	117.0 (142) +	136.4 (75) *
深 浦	18.0 (+ 0.8) +	109.5 (100) 0	171.1 (95) 0
む つ	15.5 (- 0.1) 0	130.0 (119) +	157.2 (97) 0
八 戸	15.9 (- 0.2) 0	91.5 (92) 0	144.1 (85)
秋 田	19.8 (+ 1.0) +	93.5 (73) 0	161.0 (90)
盛 岡	18.8 (+ 0.6) +	84.5 (74)	149.1 (98) 0
大 船 渡	17.8 (+ 0.5) +	139.0 (81) 0	141.8 (96) 0
宮 古	16.5 (+ 0.5) +	72.5 (62)	138.5 (99) 0
仙 台	19.1 (+ 0.8) +	106.5 (77) 0	121.4 (95) 0
石 卷	18.2 (+ 0.5) +	76.5 (69)	143.7 (99) 0
山 形	20.6 (+ 1.1) +	85.5 (83) 0	150.8 (98) 0
新 庄	19.4 (+ 0.7) +	98.5 (75) 0	140.2 (92)
酒 田	20.3 (+ 1.0) +	96.5 (75) 0	153.5 (87)
福 島	20.6 (+ 0.7) +	110.0 (93) 0	132.3 (102) 0
若 松	20.8 (+ 1.0) +	99.0 (86) 0	153.4 (97) 0
白 河	19.8 (+ 1.4) +	120.0 (72)	127.5 (105) 0
小 名 浜	18.9 (+ 0.6) +	123.0 (82) 0	123.8 (89)

観測値欄の記号は、 × : 欠測) : 欠測日を含む - : 現象なし --- : 観測をしていない
 階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 - : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

(5) 2003 年 6 月の循環場の特徴

月平均 500hPa 高度は、極東域ではシベリア東部に負偏差が広がった。また、台風第 4、5、6 号の影響もあり、フィリピン近海から東シナ海にも負偏差が広がった。一方、太平洋高気圧の北への張り出しが平年より強く、本州以北は広く正偏差に覆われ月平均気温は高かった。

中緯度では日本の西が気圧の谷となったが、上・中旬は梅雨前線が不活発だった。



(6) 月統計値の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間の 3 位まで。)

なし

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971 ~ 2000 年の 30 年間ににおいて出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。